

8月13日：外国資金の流出がVN指数を下押し

アジア諸国の地政学リスクへの警戒感のため、海外資金が流出したことでベトナム株は火曜日に下落した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.87%下落し966.83ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日には0.1%上昇していた。

ハノイ取引所のHNX指数も0.51%下落し102.29ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日にほぼ変わらずの102.82ポイントで引けていた。

香港のデモを受けてアジア株への警戒感が高まったことで、外国人投資家の売り越しが拡大しているとサイゴンハノイ証券(SHS)はデイリーレポートで語った。

東アジアの地政学的な緊張は月曜日の米国株を下落させ、アジア株もそれに続く形になった。

外国人投資家は火曜日に3050億ドン(1300万ドル)ほど売り越した。ベトジェット航空(VJC)、ペトロベトナムガス(GAS)、ペトロベトナムテクニカルサービス(PVS)、ビコストーン(VCS)などに売りが集まった。

弱気の投資家心理は大きな売りを引き起こしたため、流動性は大きく改善した。

出来高は2億1000万株で売買代金にして5.66兆ドンであった。

また、株式市場は世界経済の鈍化に懸念を抱いているとMB証券は語った。

南北両取引所合わせて、306銘柄が下落し161銘柄が上昇、106銘柄が変わらずだった。

下落したセクターは、不動産、証券、石油エネルギー、ヘルスケア・医療、銀行、飲食料セクターだった。

投資家は8月に下落し続けると信じていることは明らかだとSHSは報じた。

8月19日に期日を迎えるVN30先物指数は872.10ポイントだった。

VN30指数は0.48%下落し877.97ポイントで取引を終えた。

VN30指数の内、20銘柄が下落した。

現物と先物の乖離が投資家の悲観的な相場観を示唆している。

VN30指数はビナミルク（VNM）やベトコムバンク（VCB）などの大型株が相場の方向性を決定づける。

ベトナム株は短期的には下落リスクに直面しており、反発はテクニカル的な反発になるだろうとSHSは語った。

支持材料が欠ける中で、VN指数は970ポイント付近までのテクニカル的な反発はあるかもしれないとSHSは予想した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。